

Introduction

Dear Stakeholders

Contents

Vision

Finance

Materiality 01

GXによるサステナビリティの実現

Materiality 02

事業基盤の強化

Materiality 03

信頼される原子力事業への変革

Materiality 04

復興と廃炉の推進

Governance

Our Business

Data Section

Dear Stakeholders,

「TEPCO統合報告書2025」（以下、本報告書）では、昨年同様に、めざすVisionの実現に向けた4つのマテリアリティについて、それぞれ章立てする構成としています。また、財務情報と非財務情報を統合思考に基づいて経営戦略に組み込むという、TEPCOグループの経営の意思を反映しています。

IFRS S1, S2号、そして日本初のサステナビリティ開示基準（SSB）基準）を踏まえ、本報告書では特に気候変動関連の「リスクと機会」の識別・評価を再整理するなど、編集方針を見直しました。

またステークホルダーの皆さまからお寄せいただいている関心事項等をもとに、本報告書では以下の点について、開示充実を図りました。

- ・財務戦略
- ・データセンター立地による電力需要増加への対応
- ・DXとサイバーセキュリティ
- ・人的資本全般 ※詳細は9月公表の「[TEPCO人的資本レポート2025](#)」ご参照
- ・柏崎刈羽原子力発電所に関する取り組み 等

監督側と執行側が連携を図り、議論を重ねて本報告書を制作いたしました。主要な非財務情報は、第三者評価機関の保証を取得しています。私は本報告書の制作プロセスが誠実であり、記載内容が正当であることを表明いたします。

TEPCOグループは、今後もステークホルダーの皆さまとのエンゲージメントを大切にしていまいります。

東京電力ホールディングス株式会社
代表執行役社長

小早川 智明



TEPCO 統合報告書2025

報告期間：2024年4月～2025年3月
（上記期間以外の重要な情報についても一部報告しています）

報告対象：TEPCOグループ連結66社
（上記以外の重要な範囲についても一部報告しています）

発行時期：2025年10月

次回発行予定：2026年9月

将来見通しの記述について

本報告書にある計画、戦略、業績予想等に関する記述は、記述した時点で当社が入手できた情報に基づくものです。これらの予想・予測には、当社を取り巻く経済情勢、競合環境、関連法規、事業開発計画、為替レート等の不確実な要素が含まれており、これらの予想・予測を覆す潜在的なリスクが顕在化する可能性もあります。したがって、将来の実際の業績・事業環境等が本報告書の記述と異なったものとなる可能性があることをお含みおください。

参照したガイドライン等

IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
IFRS財団「SASB Standards」
GRI「GRI Standards」
SSB「サステナビリティ開示基準」
TCFD提言、TNFD提言
経済産業省「価値協創ガイダンス 2.0」

Contents

目次

Introduction

Dear Stakeholders

Contents

Vision

Finance

Materiality 01

GXによるサステナビリティの実現

Materiality 02

事業基盤の強化

Materiality 03

信頼される原子力事業への変革

Materiality 04

復興と廃炉の推進

Governance

Our Business

Data Section

Materialities

4つのマテリアリティに属するKPIと
その進捗をまとめたマテリアリティ・マトリクス等
⇒ [P3](#)

GX

カーボンニュートラル社会実現への
貢献、エネルギーの安定供給、
経済成長を並立するための戦略、
指標・目標等
⇒ [P18](#)

Business Foundation

「6つの資本」それぞれの戦略や
ガバナンス体制等
⇒ [P38](#)



6 Capitals

Net zero

4

Materialities

< 1/1,000

Nuclear Energy

ガバナンス体制、
原子力発電所の安全対策や
地域コミュニケーション等
⇒ [P58](#)

One Team

FUKUSHIMA

福島復興を推進する活動や
福島第一原子力発電所の
廃炉の進捗
⇒ [P66](#)

Finance

財務戦略、情報開示のあり方等に関し
て、財務・ESG戦略双方の最高責任者
である副社長山口のメッセージ
⇒ [P12](#)

Chairman Message, Corporate Governance

TEPCOを牽引する取締役会に関する
会長小林のメッセージと、取締役会の
実効性評価、取締役選任にあたっての
スキル・マトリクス、コンプライアンス
に関する取り組み等
⇒ [P76](#)

Data Section

財務、ESGの各種データ
⇒ [P95](#)

DX and Cybersecurity

DXとサイバーセキュリティの取り組み
が財務に与えるインパクトパス等
⇒ [P39](#)



Top Message

「ニーズ即応力の強化」と
「GXの推進」に取り組み
未来を拓く、社長小早川のメッセージ
⇒ [P8](#)